

男女労働者を取り巻く状況 in SAGA



佐賀労働局雇用環境・均等室

令和7年度版

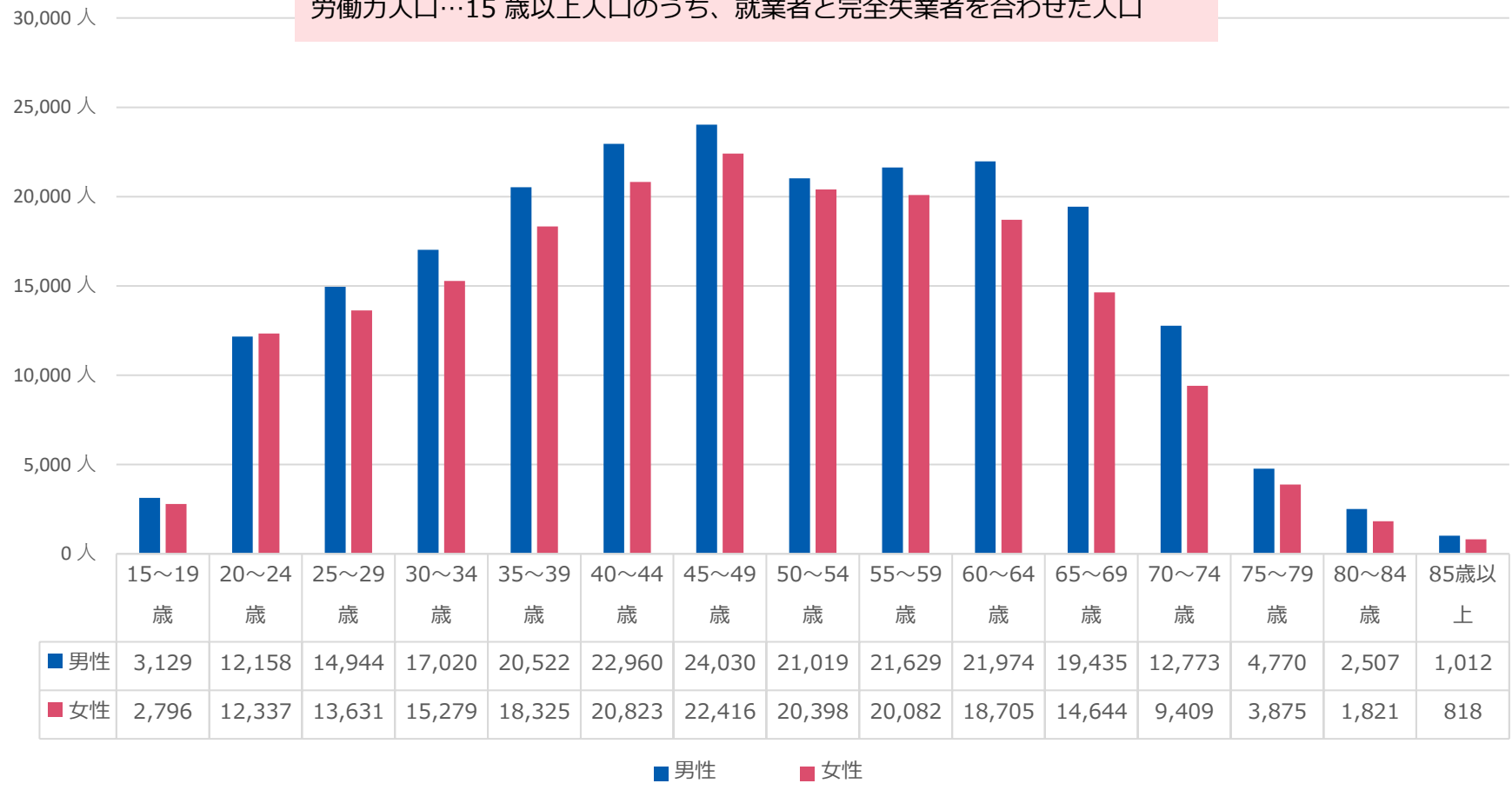
1. 年齢別労働力人口
2. 女性の年齢階級別有業率
3. 男女別の潜在有業率
4. 雇用者数と雇用者に占める女性の割合の推移
5. 女性の年齢階級別正規雇用者の割合
6. 佐賀県の所定内給与の男女間賃金差異の推移
7. 雇用者の産業別割合
8. 雇用者の職業別割合
9. 雇用者の平均勤続年数の推移
10. 出生数・合計特殊出生率の推移
11. 育児休業取得者の状況
12. 育児をしている人の有業率
13. 年齢階級別、雇用形態別有業率
14. 産業別非正規雇用者の割合
15. 労働者1人平均年間総実労働時間の推移
16. 年次有給休暇取得率の推移

1.年齢別労働力人口

佐賀県の労働力人口(15歳以上人口のうち、就業者と完全失業者を合わせた人口)は415,241人で、うち最も多い年齢層は男女とも45～49歳となっており、男性24030人、女性22,416人となっています。

年齢別労働力人口

労働力人口…15歳以上人口のうち、就業者と完全失業者を合わせた人口

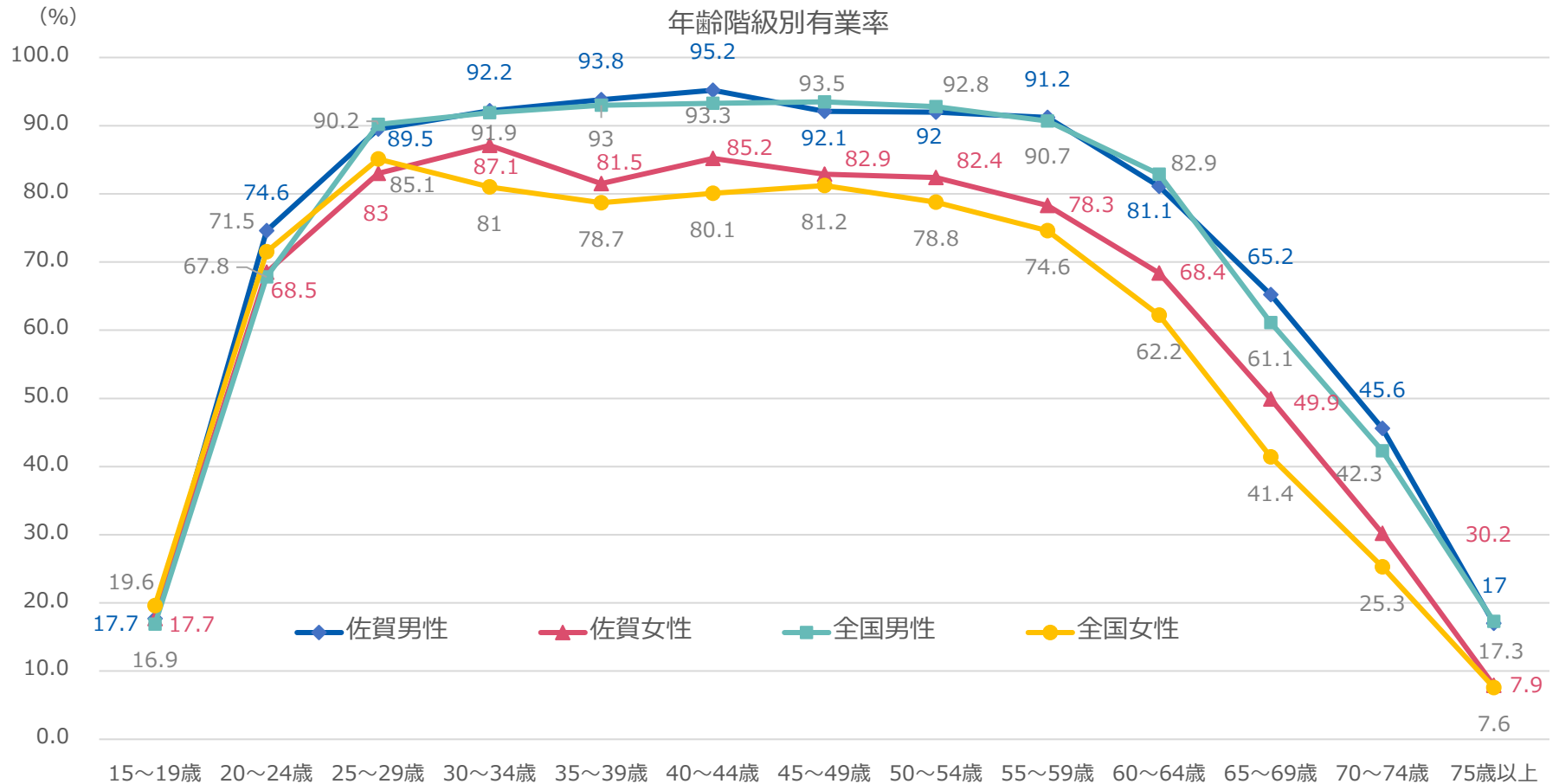


資料出所：総務省統計局「国勢調査」(令和2年)

2. 女性の年齢階級別有業率

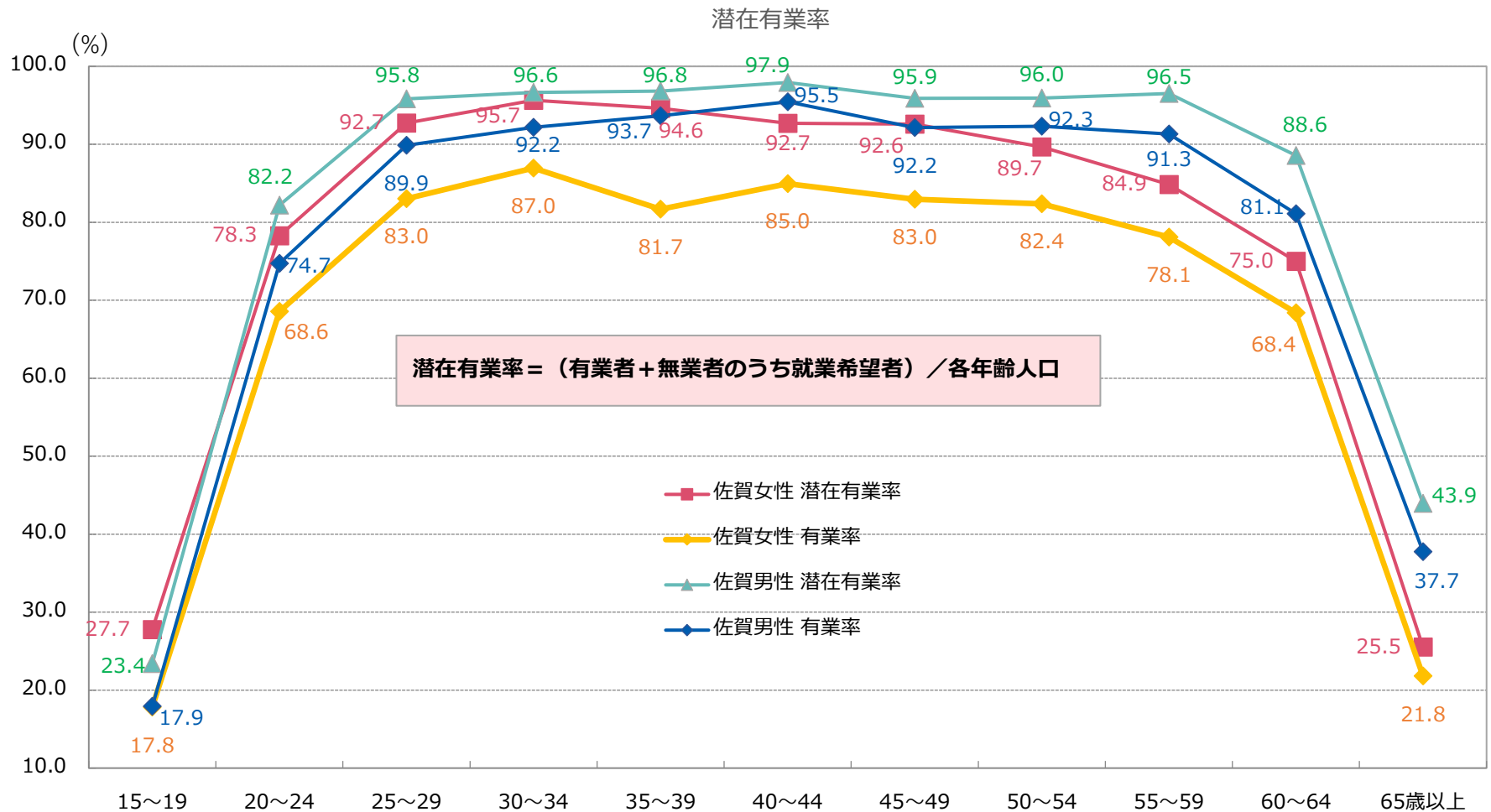
女性の年齢階級別有業率は、出産や子育てなどで一旦低下し、その後再就職などで再び上昇するM字カーブを描いています。全国はM字のピークの年齢層が25～29歳であるのに対し、佐賀県では30～34歳にピークがきている状況です。

M字のピーク値と底値の差を比べると、全国では6.4ポイント、佐賀県では5.6ポイントとなっており、落ち込みが少なく、底値から右山のピークへの上昇も大きくなっています。



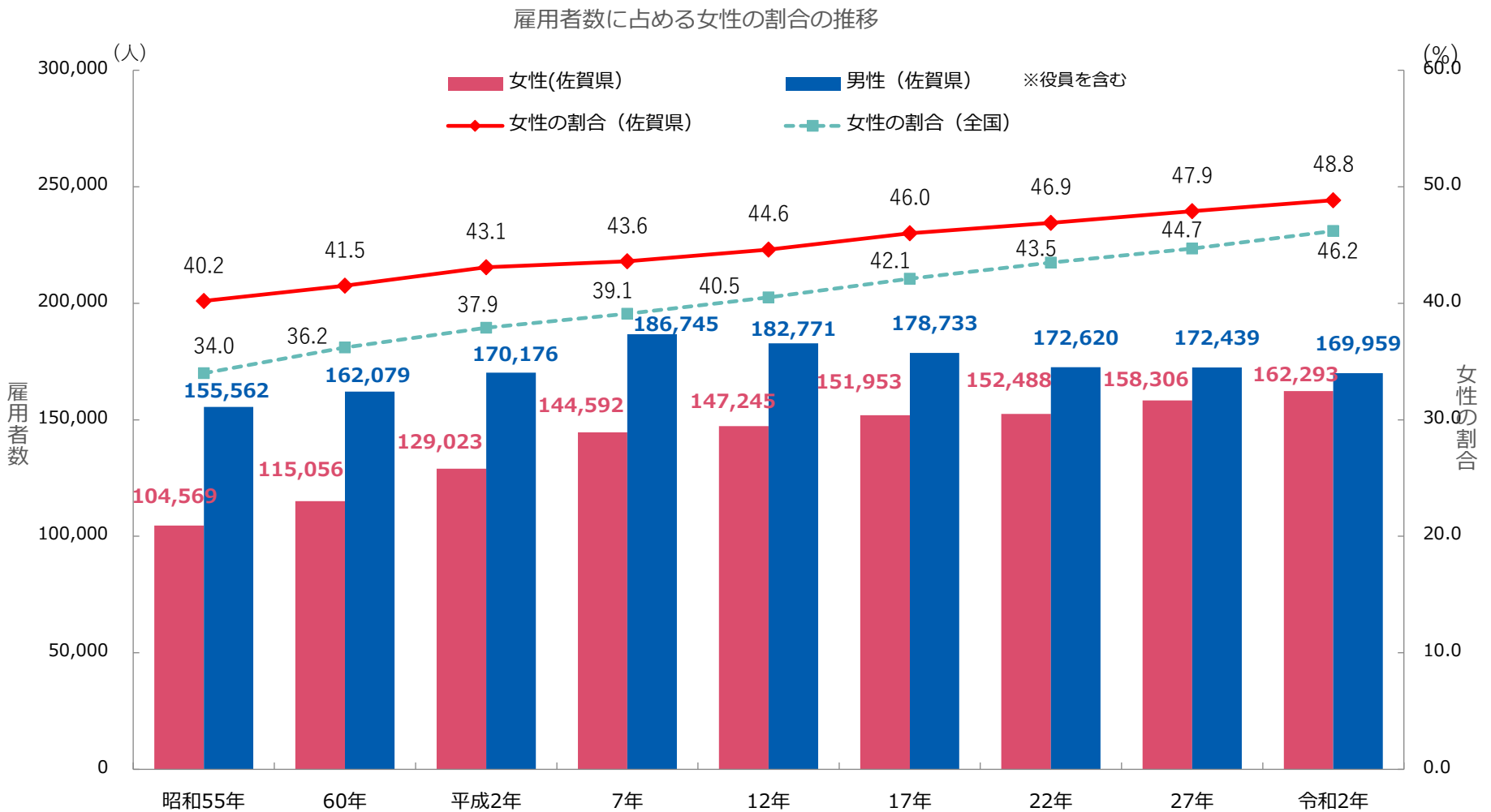
3. 男女別の潜在有業率

佐賀県における女性の無業者のうち、就業を希望している者を加えた潜在的な有業率はほぼ台形の形を成しています。女性は25～29歳層では実際の有業率とのギャップが9.7ポイントと大きく、働きたくても働けないという状況が推察されます。男性は女性に比べ、どの年齢層においても有業率とのギャップが少ない傾向にあります。



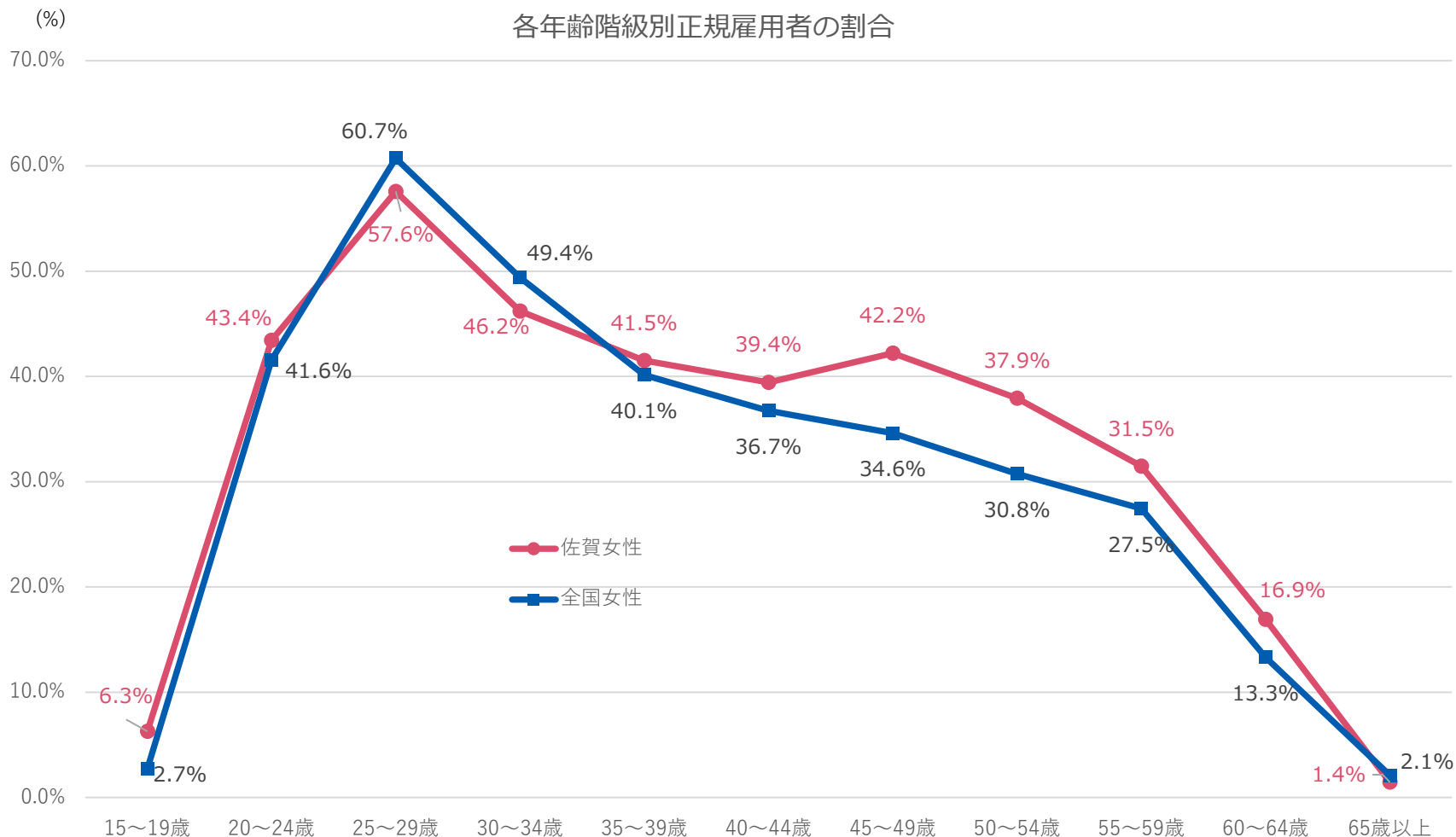
4. 雇用者数と雇用者に占める女性の割合の推移

佐賀県の雇用者に占める女性の割合は、全国平均を上回る状態が続いており、女性雇用者数も増加しています。



5. 女性の年齢階級別正規雇用者の割合

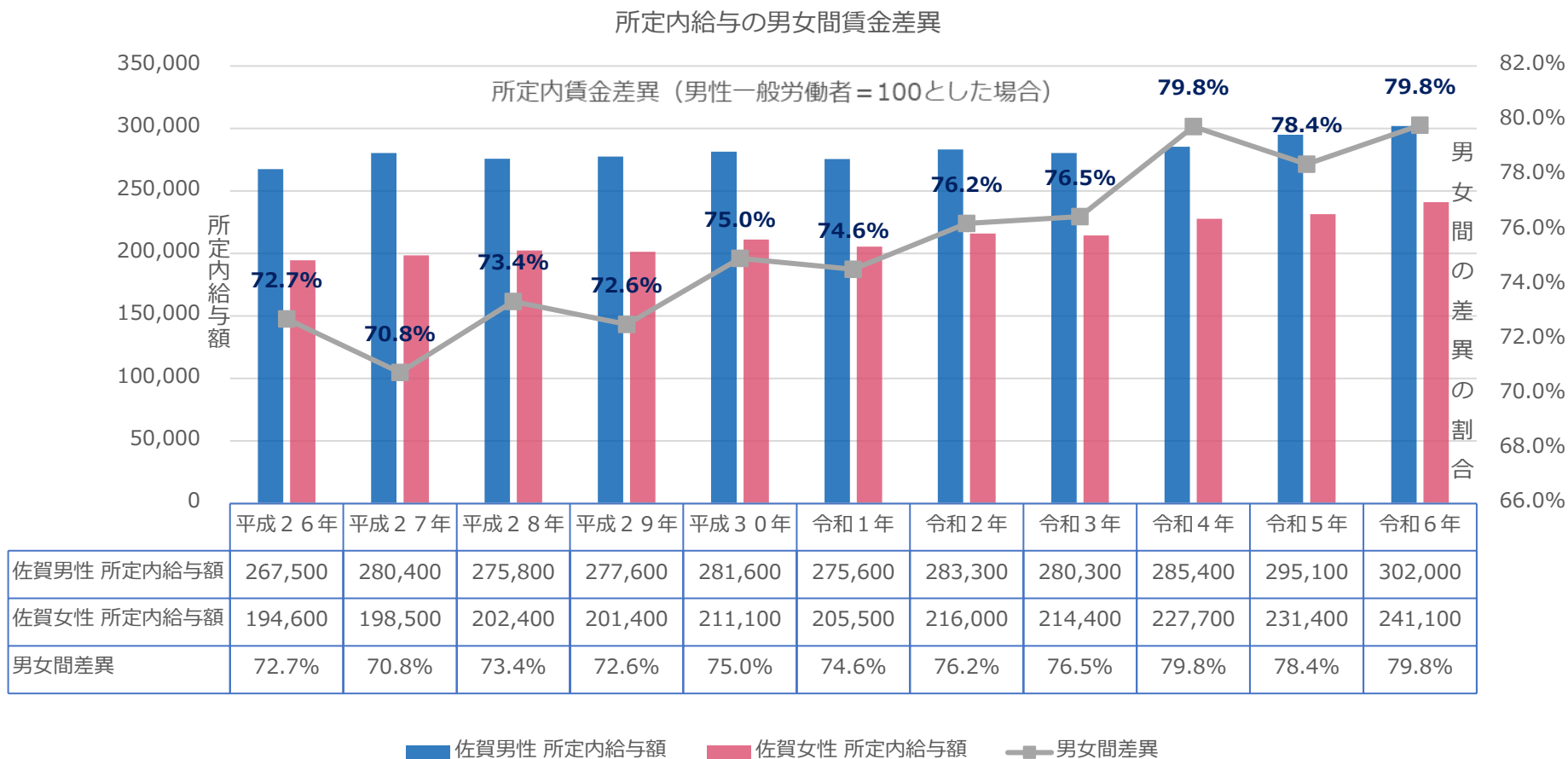
年齢階級別の正規雇用者の割合は、全国では25～29歳をピークとするいわゆるL字カーブを描いているのに対して、佐賀県ではピークは同じものの45～49歳に右山がくるM字カーブに近い構造となっていることがわかります。



正規雇用比率は、「正規の職員・従業員」／「15歳以上人口」×100。
資料出所：総務省統計局「就業構造基本調査」（令和4年）

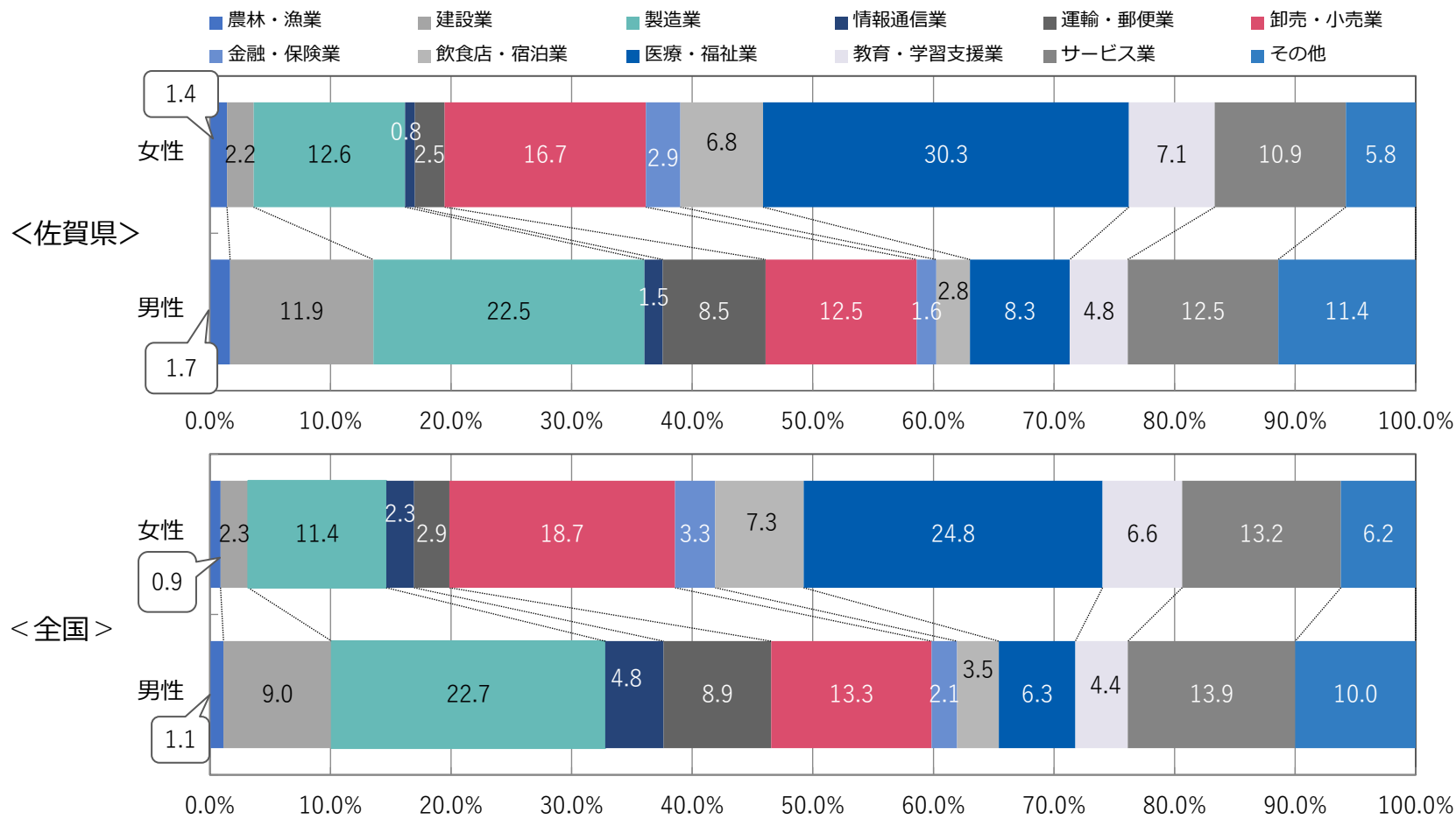
6. 佐賀県の所定内給与の男女間賃金差異の推移

男性を100として所定内給与を月額で比較すると、令和6年は女性が79.8となり、男女間の賃金差異はゆるやかに縮小傾向にあります。



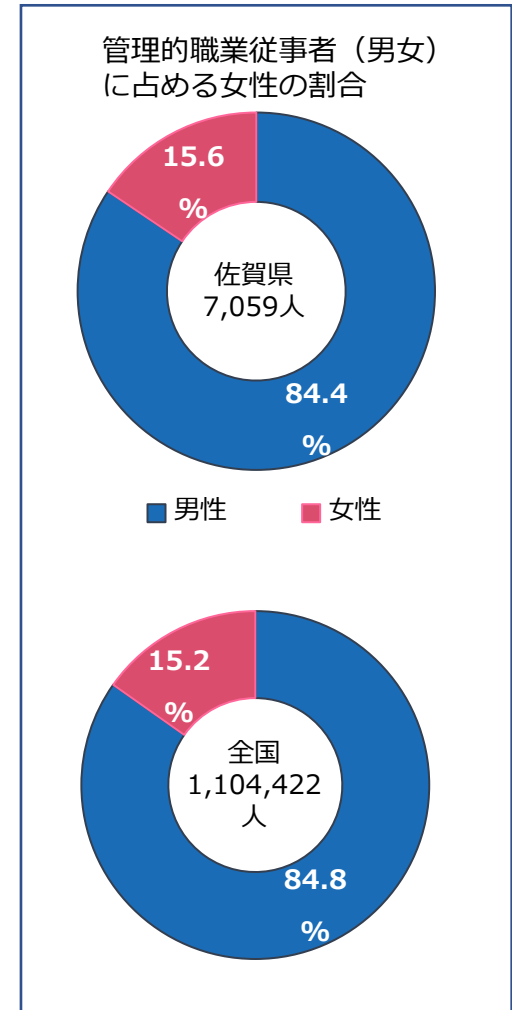
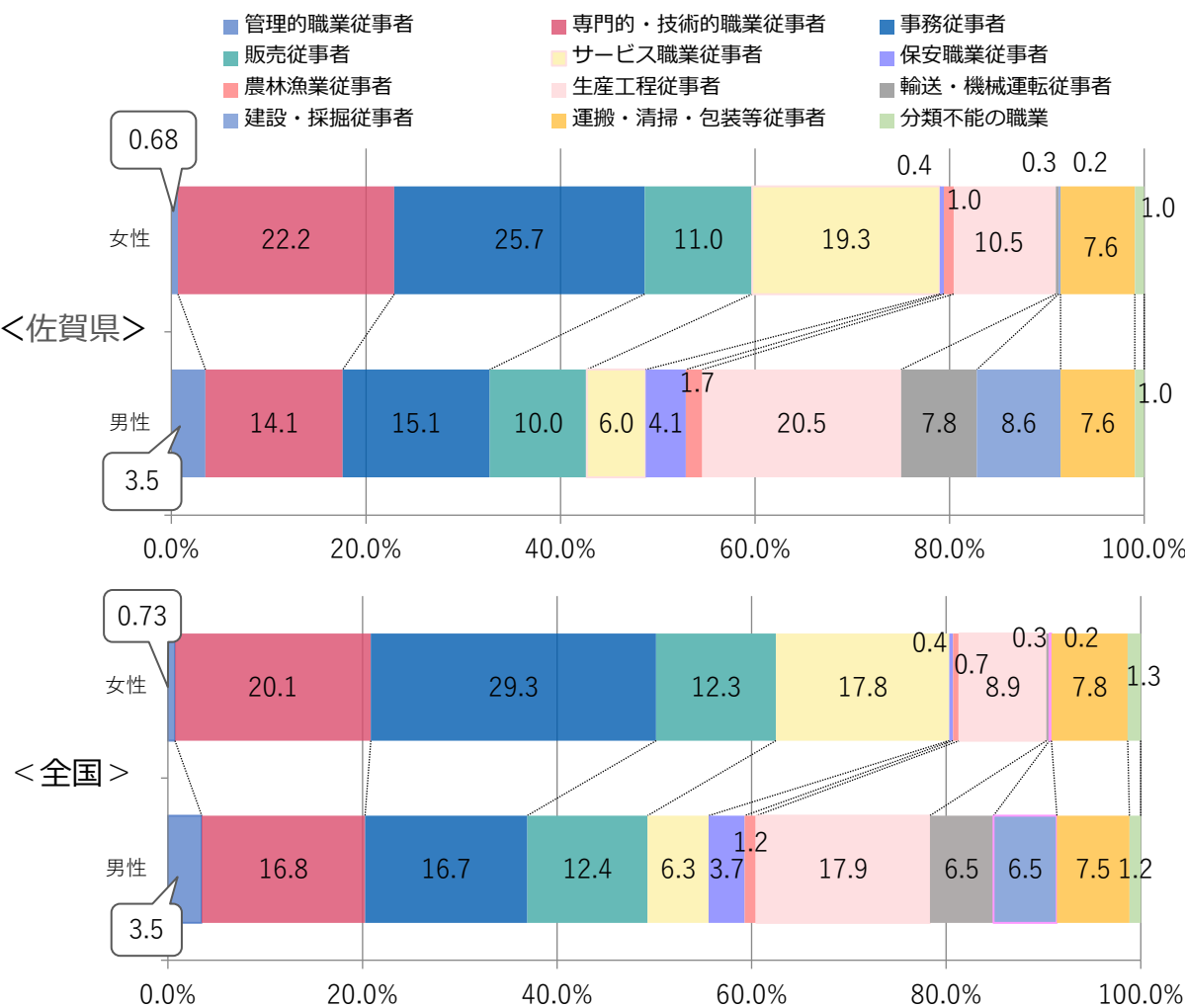
7. 雇用者の産業別割合

佐賀県の女性は医療・福祉関係の従事者の割合が最も高く（30.3%）、次いで卸売・小売業（16.7%）製造業（12.6%）となっており、この3つの産業で約6割を占め、男性に比べ就業分野に偏りがみられます。



8. 雇用者の職業別割合

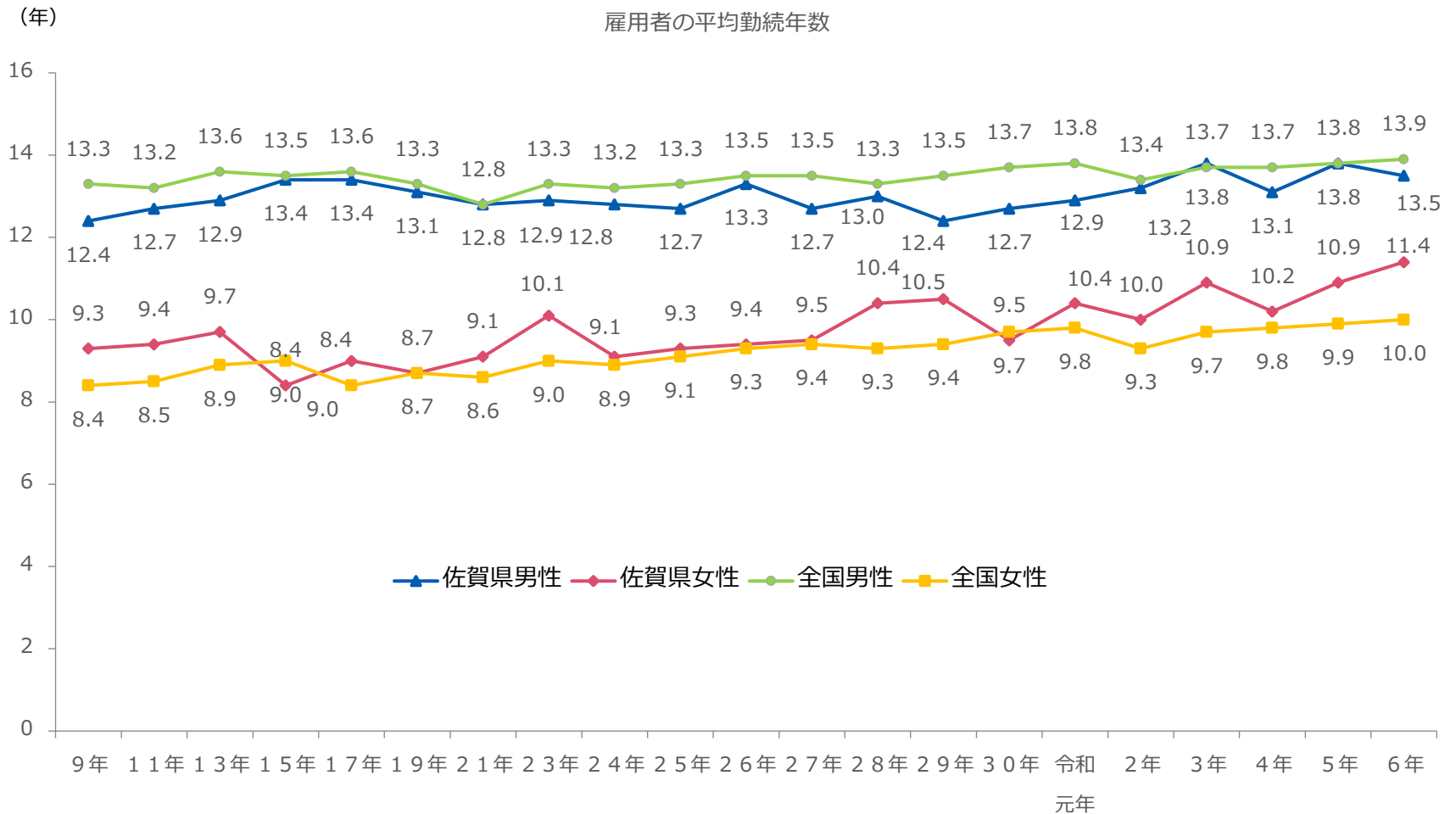
佐賀県の女性は専門的・技術的職業従事者(22.2%)と事務従事者(25.7%)の2つの職業で約5割を占めています。管理的職業従事者の女性の割合は佐賀県15.6%、全国15.2%と低く、男女の割合の差が大きいことが見て取れます。



資料出所：総務省統計局「国勢調査」(令和2年)

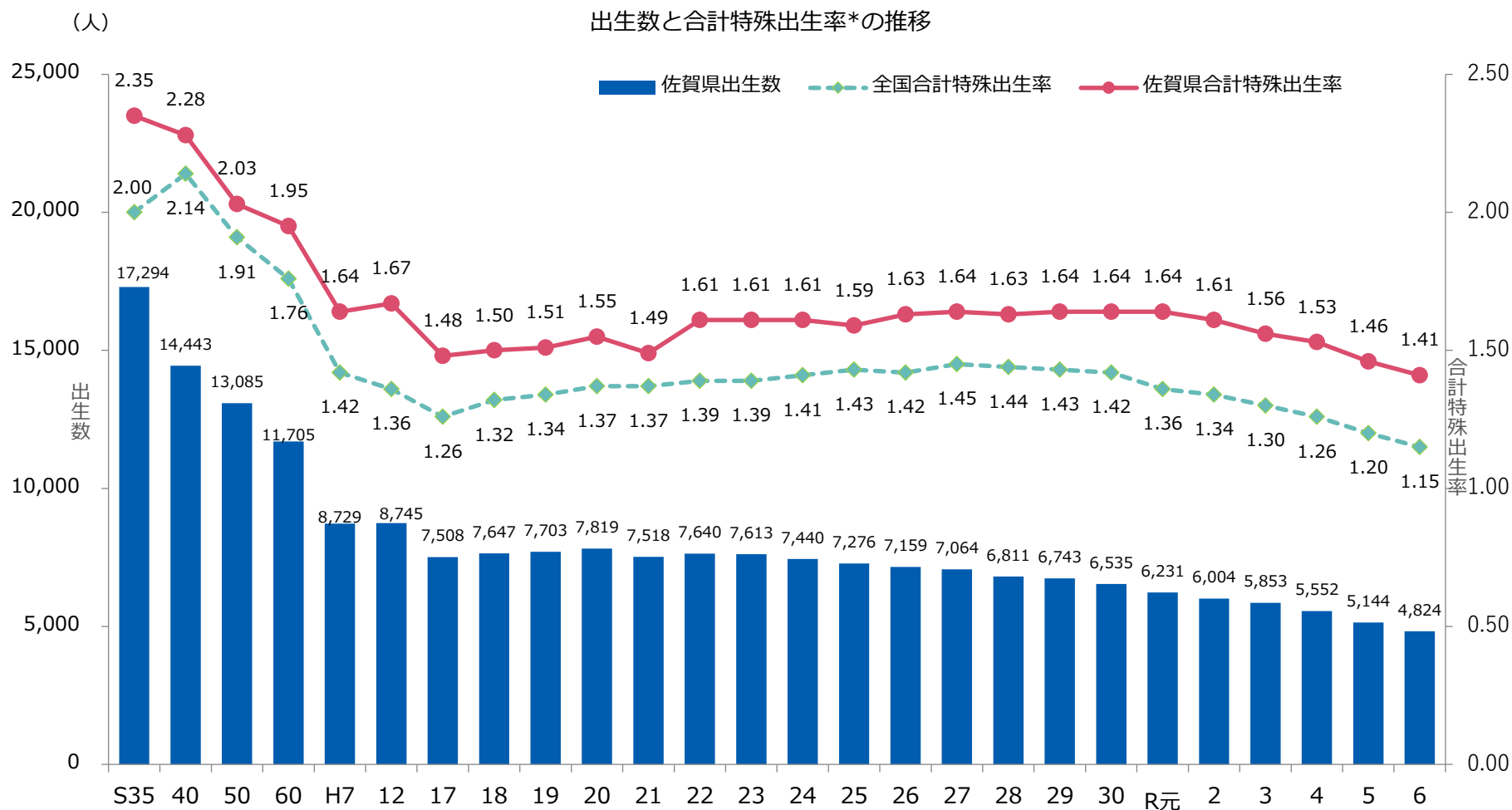
9. 雇用者の平均勤続年数の推移

佐賀県の平均勤続年数の男女差は2.1年と全国（3.9年）と比較すると小さくなっています。



10. 出生数・合計特殊出生率の推移

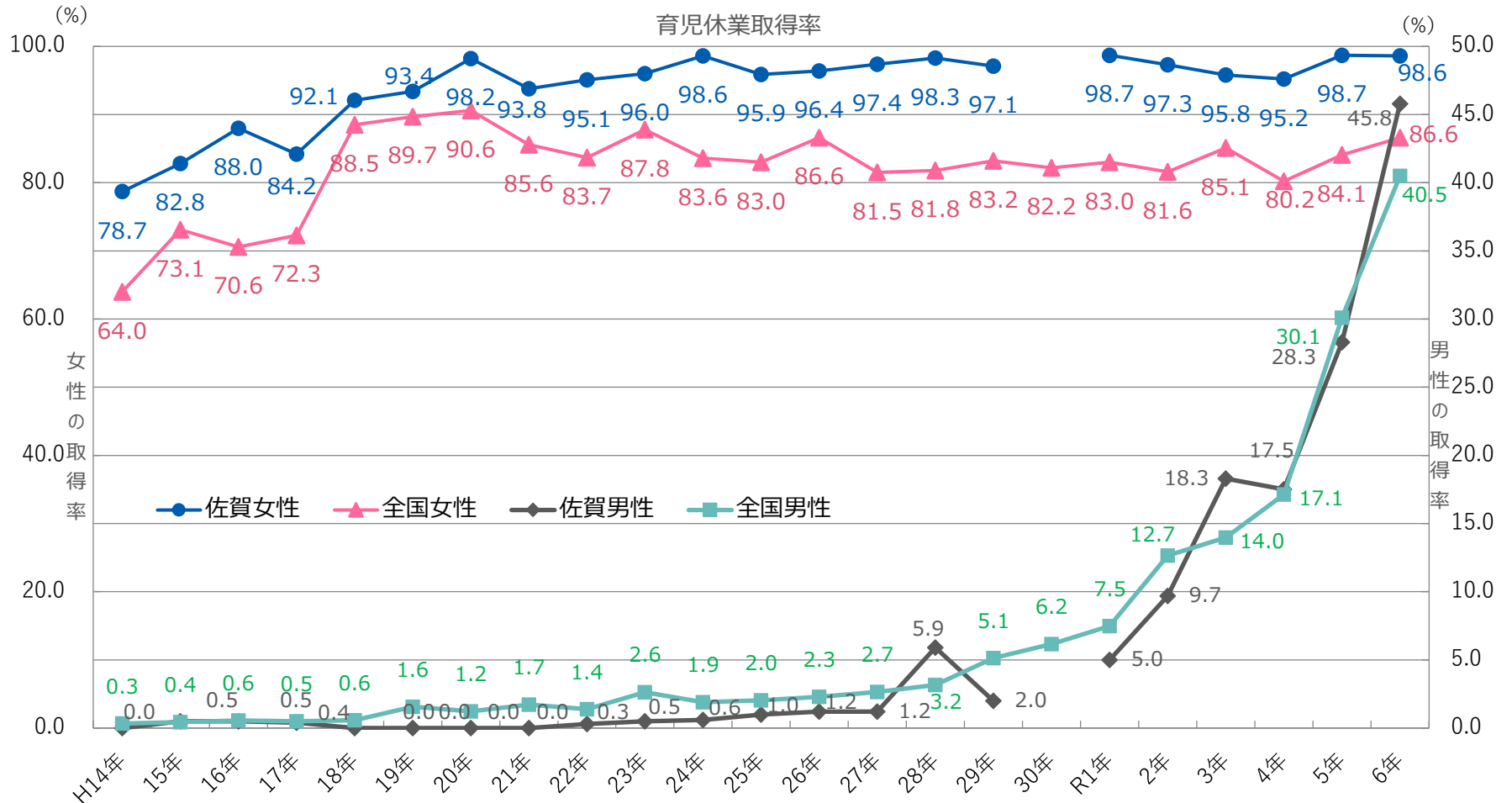
佐賀県の合計特殊出生率は、全国よりも0.26ポイント高くなっています。ただし、令和6年の出生数は4,824人となっており、年々減少傾向にあることが見て取れます。



*その年次の15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性がその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

1.1. 育児休業取得者の状況

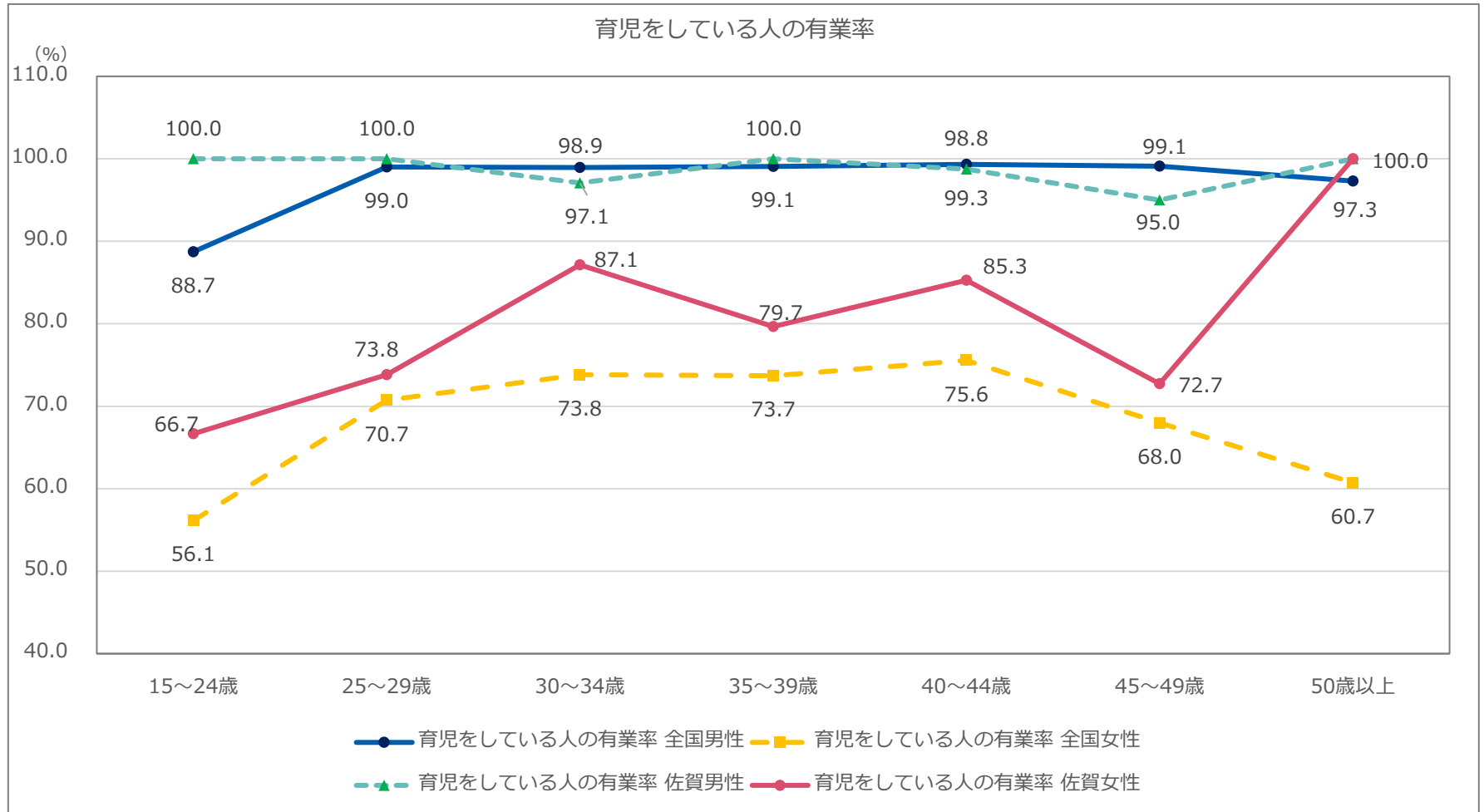
佐賀県では女性の育児休業取得率は全国と比べ高い水準で推移しています。令和6年の男性の育児休業取得率は45.8%となり、前年の28.3%から大きく取得率が伸び、全国の40.5%を上回る結果となっています。



資料出所：全国「雇用均等基本調査」
 佐賀県「佐賀県労働条件実態調査」（H29年度まで）
 「佐賀県男女共同参画の現状と施策」（R1年度以降）

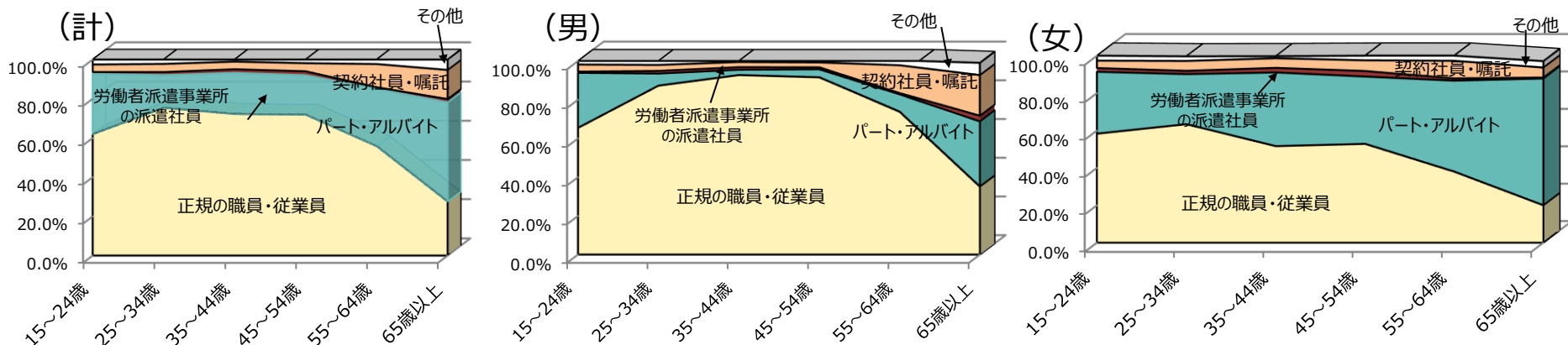
12. 育児をしている人の有業率

育児をしている人の有業率を見ると、男性は育児をしても100%に近い有業率を維持しているのに対して、女性は年齢層によってばらつきがあります。全国に比べると、佐賀県の女性はどの年齢層においても高い有業率を有しています。



13. 年齢階級別、雇用形態別有業率

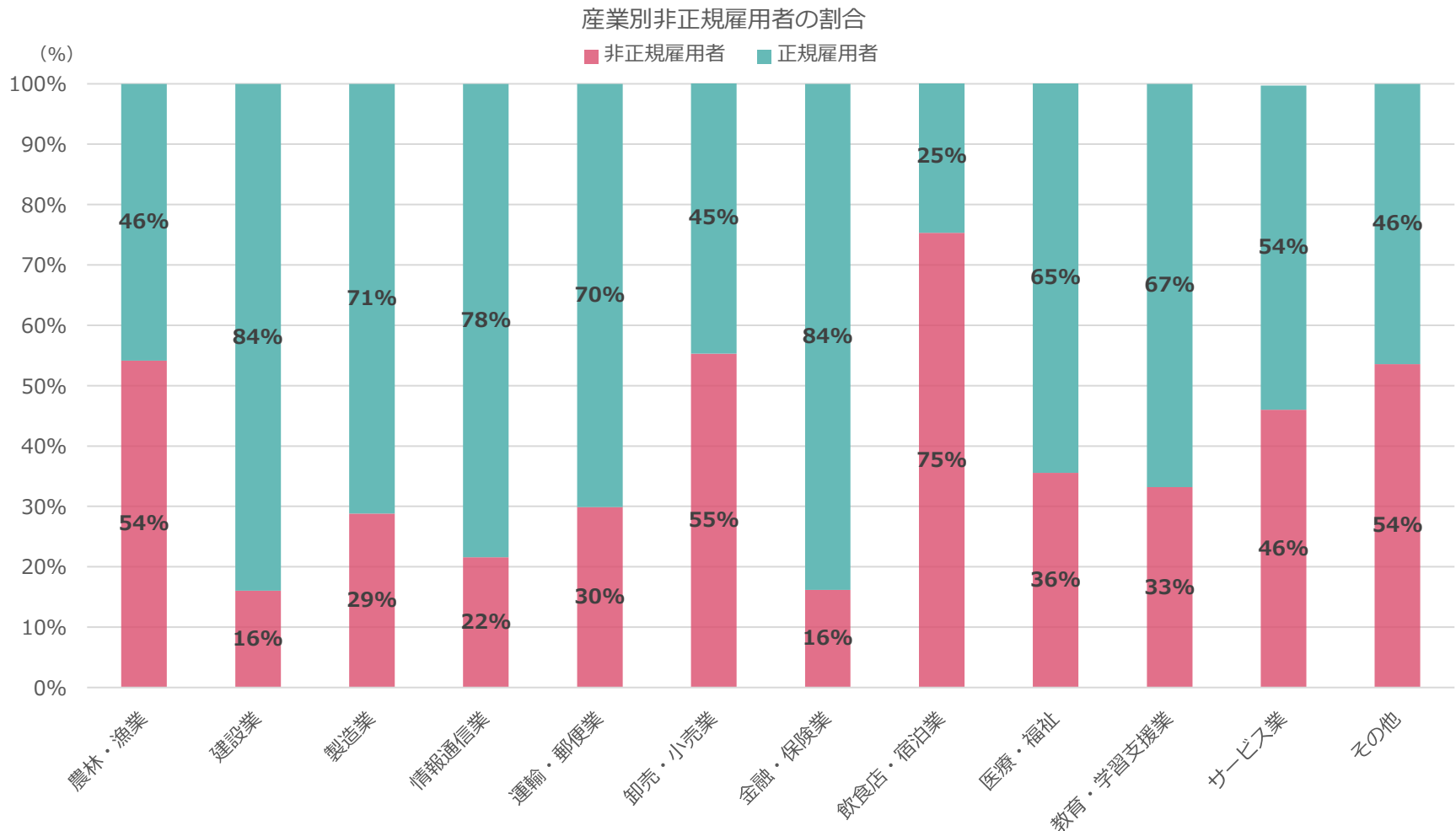
男性の有業者の多くは正規雇用者であるのに対し、女性はパート・アルバイトや契約社員等の非正規雇用者の割合と正規雇用者の割合が同程度となっています。



		総数	15~24歳	25~34歳	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65歳以上
計	役員を除く雇用者計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	正規の職員・従業員	63.4%	61.7%	75.4%	72.3%	71.8%	55.8%	27.6%
	パート・アルバイト	26.0%	30.7%	16.7%	21.0%	20.2%	29.1%	50.9%
	労働者派遣事業所の派遣社員	1.6%	1.0%	1.6%	1.9%	2.0%	0.9%	1.7%
	契約社員・嘱託	6.7%	3.8%	4.2%	3.9%	4.2%	11.8%	14.9%
	その他	2.3%	2.6%	2.3%	1.1%	1.9%	2.3%	5.4%
男	役員を除く雇用者計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	正規の職員・従業員	78.6%	65.4%	87.2%	92.7%	91.6%	73.8%	35.1%
	パート・アルバイト	10.7%	28.4%	6.2%	2.7%	4.1%	8.9%	33.7%
	労働者派遣事業所の派遣社員	1.2%	0.6%	1.4%	1.3%	1.0%	0.6%	2.9%
	契約社員・嘱託	7.2%	3.7%	3.1%	2.7%	2.6%	14.4%	21.0%
	その他	2.3%	2.5%	2.1%	0.5%	1.3%	2.6%	6.3%
女	役員を除く雇用者計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	正規の職員・従業員	48.2%	58.3%	63.4%	51.6%	52.9%	38.0%	20.0%
	パート・アルバイト	41.1%	33.1%	26.8%	39.4%	36.0%	48.6%	67.8%
	労働者派遣事業所の派遣社員	2.0%	2.0%	1.8%	2.4%	3.0%	1.2%	0.5%
	契約社員・嘱託	6.4%	4.0%	5.3%	5.2%	5.7%	9.4%	5.4%
	その他	2.4%	2.6%	2.5%	1.1%	2.5%	2.7%	3.4%

14. 産業別非正規雇用者の割合

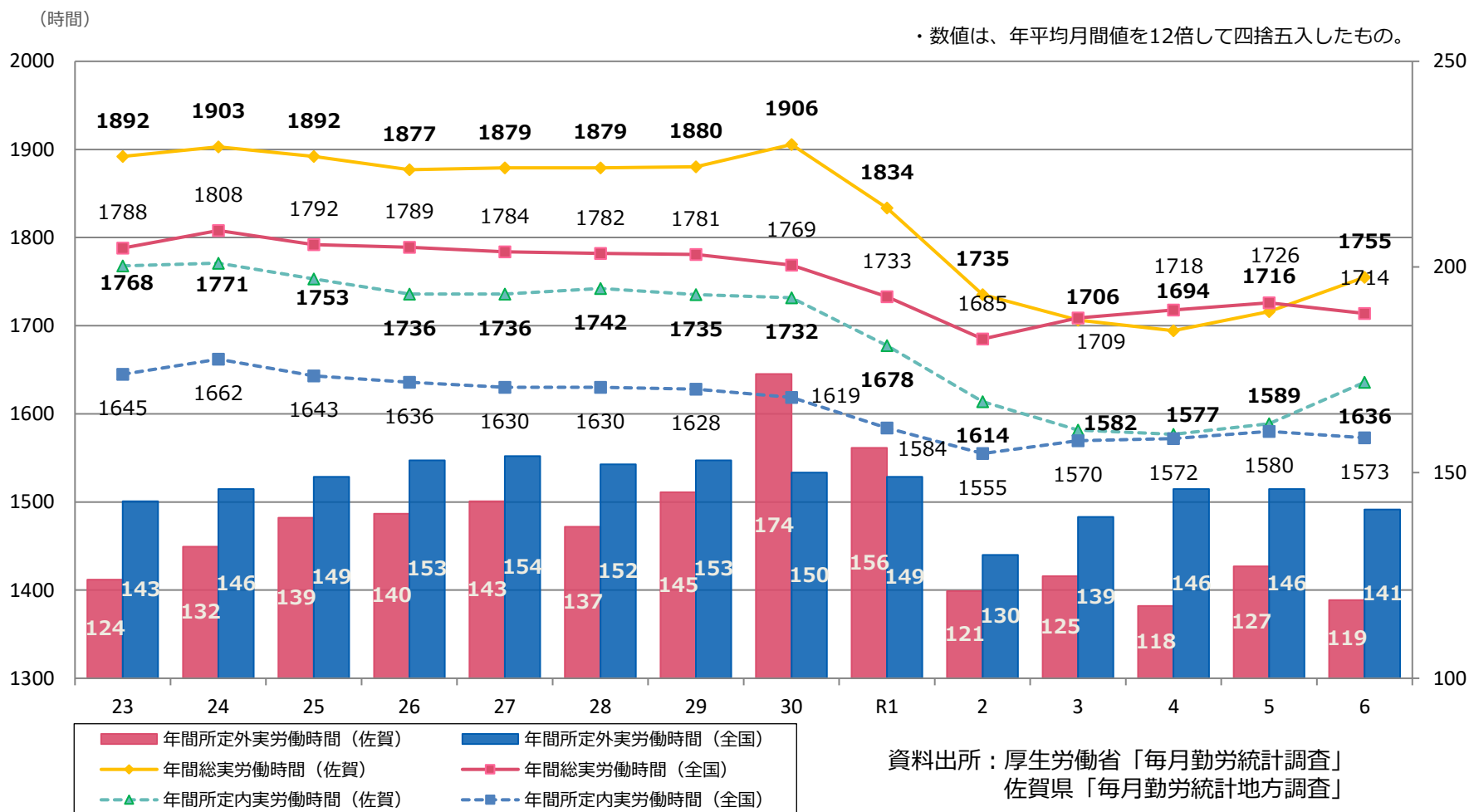
佐賀県の雇業者に占める非正規雇用者の割合が最も高いのは、飲食店・宿泊業で75%となっています。卸売・小売業、農業・漁業、サービス業においても約半数が非正規雇用者となっています。



15. 労働者1人平均年間総実労働時間の推移

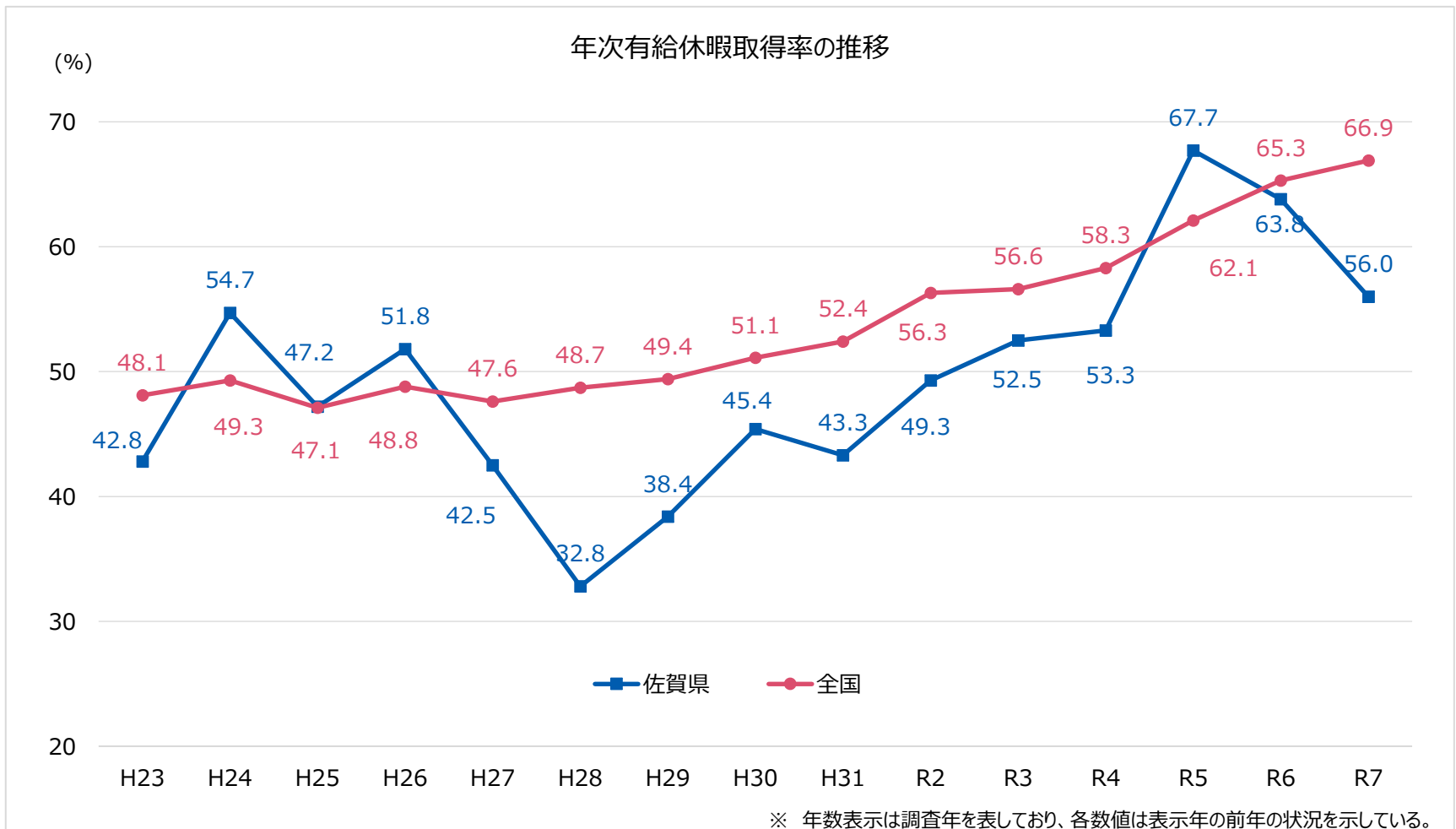
佐賀県の労働者1人あたりの平均年間総実労働時間は、全国に比べ短い傾向にありましたが、令和6年では逆転しています。所定内労働時間も全国と同水準であったものが、令和6年においては全国を上回っています。一方、所定外労働時間は、令和2年以降全国に比べて低い数値で推移しています。

労働者1人平均年間総実労働時間の推移（調査産業計、規模30人以上）



16. 年次有給休暇取得率の推移

年次有給休暇取得率は、平成28以降上昇傾向にありましたが、令和7年調査では佐賀県における取得率が56.0%に下がっており、全国66.9%との差が大きくなっています。



資料出所：就労条件総合調査の特別集計を基に厚生労働省雇用環境・均等局総務課雇用環境政策室が作成
(H27までは、厚生労働省労働基準局労働条件政策課が作成)